

神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専攻	ECO ライフ/生活環境コース	対象学年	1年
講義日	令和06年10月08日(火)		
テーマ	命を守る気象災害への備え～災害時に役立つ常備薬～		
講師	南気象予報士事務所 気象予報士・薬剤師 林保捺美		
講義内容			
1. ねらい			
近年では、大規模な自然災害が相次いで発生しています。「自らの命は自らが守る」意識を持ち、災害時の対応について確認しておく必要があります。			
2. 主な内容			
(1)今、どこで、どのくらい危ないのか、 災害発生の危険を察知し、安全に避難するために必要な情報とは？			
(2)自然災害による被害を防ぐためには、日頃から十分に備えておくことが大切です。 そのひとつとして、意外に見落とされがちなのが、「薬の備え」 知っておきたい、災害時に困らない常備薬とは？			
講師からのメッセージ			
自然災害への備えは穏やかなうちに進めておくことが肝心です。命を守るために自らができる備えや情報を理解してください。			

神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専攻	生活環境/ECO ライフコース	対象学年	1 年
講義日	令和 6 年 12 月 17 日(火)		
テーマ	SDGsと私たち		
講師	大阪公立大学 経済学研究科教授 杉田菜穂		
講義内容			
1. ねらい			
SDGs(持続可能な開発目標)について、 SDGs とは何か？SDGs のために何をすればよいのか？SDGsとどのように関わればよいのか？といったことまで理解する。			
2. 主な内容			
(1) SDGsとは何か？ SDGs は、MDGs(ミレニアム開発目標)の後継として 2015 年 9 月の国連サミットで採択された国際目標です。この目標が生まれた経緯も含めてSDGsとは何かを理解する。			
(2) SDGsのために何をすればよいのか？SDGsとどのように関わればよいのか？ SDGsと日本、SDGsと私たち。SDGsを達成するための取り組みの事例などから、SDGsのために何をすればよいのか、SDGsとどのように関わればよいのかを理解する。			
講師からのメッセージ			
SDGsについて理解を深めることで、皆さんの学びがより豊かなものになることを願っております。			

神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専攻	ECO ライフ/生活環境コース 専攻	対象学年	1 年
講義日	令和 06 年 09 月 03 日(火)		
テーマ	資源循環「食品ロスを考える」(資源循環社会入門)		
講師	元甲南女子大学人間科学部教授 中野加都子		
講義内容			
<p>1. ねらい</p> <p>1970 年代から 1990 年代にかけて、日本人の食生活は経済的な繁栄や食品輸入の増加、外食産業やハンバーガーのチェーン店の台頭等による影響を受けて「飽食の時代」を迎えました。その後、経済の低成長、地球温暖化をはじめ、円安、世界人口の増加などさまざまな影響を受けて食料事情は大きく変化し、現在では食料の安定供給をいかに確保するかが大きな課題となっています。</p> <p>一方で日本国内では、食べることができるのに捨てられている「食品ロス」が、あまり現実的な問題として認識されていません。この講義では食品ロスの実態、政策や事業者としての取り組みについて知り、生活者としてできることを考えます。</p> <p>2. 主な内容</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 日本国内の食品ロスの推移 (2) 食料調達の不安定化の要因 (3) 生活の中の食品ロスの実態 (4) 食品ロス削減のための対策と目標 (5) 私たちの生活の中でできること 			
講師からのメッセージ			
<p>受講生のみなさんは「飽食の時代」と、食料安定確保の不安がある現状の両面を経験されています。健康維持を維持し豊かさを感じながら生きていくために、食料の安定確保が基本となることは言うまでもありません。まずは日常生活の中で食品ロスを少なくするために、どんなことを心がければよいかについて、明るく考えていきましょう。</p>			

神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専 攻	ECO ライフ コース	対象学年	1 年
講義日	令和 6年 7月 23日 (火)		
テーマ	脱炭素社会「創エネ&ゼロエネ住宅(ZEH)」		
講 師	(公財)ひょうご環境創造協会 津田和典 河原一郎		
講義内容			
<p>1. ねらい</p> <p>自然環境や人間の暮らしに大きな被害をもたらしている地球温暖化。近年は気候変動ではなく「気候危機」と云われています。主な原因は、人間活動による温室効果ガスの増加の可能性が高いと云われている。</p> <p>現状を知り、私達が生活の中で日常的な「緩和」と「適応」を実践していくことで、地球の未来を守られることを考える。</p> <p>2主な内容</p> <p>(1)地球温暖化の現状と将来 現在各地でどのような事が起こっているか、また今後どのようなことが起きると想定されるか理解する。</p> <p>(2)再生可能エネルギーとは 脱炭素のための再生可能エネルギーの概要と今後の問題点を理解する。</p> <p>(3)ゼロエネルギー住宅と省エネについて ゼロエネルギー住宅とはどのようなものか。各家庭のライフスタイルに合わせた省エネ、省 CO2 対策提案する「うちエコ診断」の紹介。</p> <p>(4)今ある生活で我々が出来る省エネについて考え理解する。</p>			
講師からのメッセージ			
<p>地球温暖化防止に取り組んで久しく、現在どのような状況か将来どのような事が想定されるかを理解し、子供や孫たちの為に日常生活でどのような事をすればよいかを考えてください。</p>			

神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専 攻	ECO ライフコース	対象学年	1 年
講義日	令和 6 年 7 月 16 日(火)		
テーマ	地球環境「エシカル消費が世界、社会を変える」		
講 師	認定 NPO 法人環境市民 副代表理事 下村委津子		
講義内容	<p>1.ねらい</p> <p>生活者・消費者が主体者となり日常に購入する商品やサービスをエシカルなものに変えていくことで、大量生産、大量消費、大量リサイクルから脱出し、気候変動による地球環境の悪化や世界的な格差の是正に影響を及ぼすことを理解する。</p> <p>2.主な内容</p> <p>(1)地球環境、今起きていること・問題点</p> <p>気候変動によって世界や日本でおきていることと問題点、 どのように理解すればいいのか</p> <p>(2)気候変動と私たちの暮らし</p> <p>私たちのライフスタイルが気候変動にどのような影響を与えるのか、 また、SDGs で謳われる価値観の変革とは具体的にどのようなことなのか、 ライフスタイルを変えるために必要なことを学習する</p> <p>(3)ワークショップ「買い物ゲーム」</p> <p>エシカル消費が世界、社会を変えるとは？どのように考えどう行動すればいいのかをワークショップ形式で体験し理解する。</p>		
講師からのメッセージ	<p>新たな価値観のもと、持続可能な社会をつかっていくために一人一人が力を発揮できるのがエシカル消費です。エシカル消費は具体的なライフスタイル転換のための取り組みでもあることを理解し、実践していきましょう。</p>		

神戸市シルバーカレッジ シラバス

専攻	ECO ライフ	対象学年	1	場所	学習室3・4
講義日	令和 6年 6月 25日 (火)				
テーマ	生態系と循環と人間				
講師	社会構想大学院大学先端教育研究所特任教授 松本 朱実				
講義内容 環境に関わる『エコ』は、どこから由来するのでしょうか？ この授業では、生態系(Eco System)における生物相互作用や、物質の循環、人間活動との関わりについて具体的な実物(何が登場するかは当日の授業を楽しみにしてください)を通して学びます。午前は生態系に関わる講義をおこない、午後は班単位で簡易な土壌動物調査の実習をおこないます。昼休みに、学校近辺の土を採取いただき、中にいる小動物を調査します。当日にお持ちいただきたいものは、以下の通りです。あらかじめご準備いただきたくお願い申し上げます。 各自: 割り箸かピンセット 1つ 白い食品トレイ(豆腐の容器でもかまいません) 1つ 昆虫図鑑(任意) 各班: ポリ袋 2~3枚 新聞紙 2~3日分 生態系における循環のシステムは、生活環境コースでこれから皆様が学ばれる、地球温暖化、生物多様性の損失、ゴミ問題など、あらゆる環境(問題)と関わります。自然事象に留まらず、これから環境を総合的に学ぶ視点の一つとして、参考にしていただきたく思っています。					
講師からのメッセージ 環境教育や学習論を専攻しています。動物園で学芸員として勤務し、大学で博物館実習やアクティブ・ラーニングの授業を担当しています。また、社会人向けの専門職大学院でリカレント教育を担当しています。一般社団法人ミュージアムESDコミュニティを設立しました(代表理事)。 10年以上、本校生活環境コースのコーディネーターを務めました。本授業では実体験をもとに、生態系における人間(ヒト)の位置づけを確認したいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。					

神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専 攻	ECO ライフ 専攻	対象学年	1 年
講義日	令和 6 年 5 月 14 日(火)		
テーマ	自然共生「しあわせの村の野鳥観察」		
講 師	山根みどり((公財)山階鳥類研究所 保全研究室 鳥類標識センター協力調査員)		
講義内容			
<p>1. ねらい</p> <p>鳥は、地球上のあらゆる環境に適応して広く分布し、私たちの周囲でも様々な種類の鳥が見られます。知能も高く、姿も愛らしい鳥類は、魅力にあふれた生き物です。</p> <p>また、鳥は生態系の上位に位置する生き物で、環境のバロメータです。鳥が住めないような環境では、私達も住めなくなるのです。鳥の観察を通じて、環境の変化に敏感になりましょう。</p> <p>この講義では、普段は鳥に関心のなかった人も、鳥をもっと身近に感じ、自然環境全体の変化に興味を持っていただけるよう、お話します。テキスト、スライド、ビデオを使い、鳥の体の仕組み、生態などをわかりやすく解説する室内講義と、実際に村内を歩いてバードウォッチングを楽しみます。</p> <p>2. 主な内容</p> <p>(1) バードウォッチング(双眼鏡、図鑑をお持ちの方は持参してください)</p> <p>(2) 室内講義</p> <ol style="list-style-type: none"> a. 鳥類とは？ b. 鳥の飛翔 c. 生活様式と形態の多様化 d. 生態(繁殖、渡り) e. 保護のための研究(標識調査) 			
講師からのメッセージ			
<p>春には、ツバメなど多くの夏鳥が日本へ渡ってきて子育てをします。5 月は鳥の子育て真っ最中。ヒナに運ぶためにエサを口にくわえて飛ぶ鳥たちの姿も見られることでしょう。鳥に興味を持っていただくと同時に、環境の変化への感度も高めていただけるよう、鳥の魅力をお話します。しあわせの村に住むたくさんの方の鳥たちとの出会いを楽しんでください。</p>			

神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専攻	ECO ライフコース	学年	1年
講義日	令和6年5月7日(火)		
テーマ	「しあわせの村の自然観察(植物・昆虫・里山)」		
講師	兵庫県立人と自然の博物館 特任教授 黒崎史平		
講義内容			
<p>しあわせの村内を探索し、路傍の雑草や芝地などに植栽されている樹木について、植物の名前を知り、花・実・葉の作りを観察します。</p> <p>身近な植物に気づき、さらに、自然の多様性について学ぶきっかけとする。</p> <p>外歩きに適した服装、靴、帽子、筆記用具などを用意すること。</p> <p>なお、雨天の場合は室内において、観察を行います。</p>			
講師からのメッセージ			
<p>日ごろ見過ごしている身近な草木にも興味を持ち、人の営みと植物の生活について考えてみてください。</p>			

神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専攻	ECO ライフコース	対象学年	1年
講義日	令和 6年 4月 23日(火)		
テーマ	ECO ライフコースで学ぶにあたって ～私たち、そして未来世代を“よりよく生きる”ために～		
講師	フリーランス 川島 憲志		
<p>講義内容</p> <p>□ 講義内容</p> <p>スにト>>での自然の本来の意味、その自然と私たちの関りの有り様が生み出している環境問題の切実さを再認識していただくと共に、私たち自らのみならず未来世代も“よりよく生きる”ためにできること、やるべきことを考えていただきます。これを通じ、本コースで学ぶことの意味、学びに向けての心がまえを確認していただきます。</p> <p>なお、下記のような内容を予定しています。</p> <p>【導入】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オープニングスライド「季節はめぐる」 2. オリエンテーション：講師自己紹介、テーマ、目標、内容についての説明 <p>【講義その1】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自然のおかげで“私たち”があることをわかっておきましょう！ <ul style="list-style-type: none"> Q：私たち、未来世代の生命、暮らしを維持していくために欠かせないものは？ ① すべての生命はつながっている <p>【講義その2】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. かけがえのない自然に対して私たちが為出かしていることをわかっておきましょう！ <ul style="list-style-type: none"> Q：環境問題と聞いてイメージするものは？ ① 環境問題とは... ② 環境問題の変化 ③ 環境問題の相互関係 ④ 環境問題の背景 ⑤ 私たちの暮らしの有り様と環境の変化 <p>【講義その3】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 私たちにできること、やるべきことがあることをわかっておきましょう！ <ul style="list-style-type: none"> Q、この一週間の暮らしをふりかえて... 			

① 環境問題を解決する3つの¹¹Eに ...

② 必¹¹ず必要なE

③ 環境教育の目的

④ みなさんにとって、ECOライフコースとは...

⑤ ECOライフコースで学ぶにあたって、大切にしていたなきたい心得!

[ふりかえり]

1. 本講義を受講されて、気づいたり学んだりしたことと言...

2. これからの学園生活で、こころかけようと思うことは...

[おわりに]

1. ECOライフコースで学び、活動される皆さんへ...

ロ 講師からのメッセージ

本コースが、お一人ひとりにとって未来世代に相応しいグッド・アसेスター:

良き祖先になる価値ある学びの機会になりますように..!

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（ 生活環境 コース ）

項 目		対象学年	1年	場所	学習室3・4
テーマ	環境総論「環境問題と私のかかわり その1」				
講 師	岩木啓子				
<p>講義内容</p> <p><ねらい></p> <p>環境問題と日常の暮らしがきわめて密接にかかわるものであることを実感を伴って理解する。また、ECO ライフコースで学ぶ意味を確認するとともに、コースのテーマを介してクラスの仲間と知り合って、これからに向けての学習環境を整える。</p> <p><内容></p> <p>3-4人ずつのグループになって、暮らしと環境問題に関することについて意見交換をする。講師から、いくつかの質問を投げかけ、それに対する意見を出し合ってコースのテーマについて掘り下げていく。</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>このコースを選んだ思いを出し合うとともに、環境問題が堅苦しく難しいものではなく、日常に直結している実感を持っていただければと思います。3年間の学びに向けての期待が高まりますように！</p>					

神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専 攻	ECO ライフコース	対象学年	1年
講義日	令和 6年 4月 16日(火)		
テーマ	総合学習「オリエンテーション&アイスブレイキング」 ～3年間の学びに向けて～		
講 師	浅見真一		
講義内容			
<p>新たに ECO ライフコースで学ぶにあたり、3年間の学びに向けて、共に学ぶ仲間と出会い、人となりを理解し、相互の信頼関係のベースを作ります。</p> <p>一日を通してのアイスブレイキングです。具体的には下記の内容で行います。</p> <p>10:30～ オリエンテーション ECO ライフコースの学習目的、カリキュラムの柱、3年間の学びの体系などを説明し、理解を図ります。</p> <p>10:40～ 実習：「素敵な学びに向けて、よろしくお願いします！」 3年間の学びにおいて必要な人とのかかわりを実習によって考えます。</p> <p>13:30～ 全体会：「素敵な学びに向けて、心構えを整理しよう！」 充実した3年間を上げるために自らの関わる姿勢を確認します。</p> <p>※午前中のセッションは12時30分終了の予定です。 午後は13時30分から開始し14時30分に終了します。</p>			
講師からのメッセージ			
<p>身体と頭と心を動かす体験的な学習です。</p> <p>新しい生活に向けて、遊び心を持って、楽しんで取り組みましょう。</p>			